

Koriyama West Weekly Report



第2回例会
No. 2775

会長/鈴木 茂 幹事/滝田 吉宏 クラブ広報委員長/濱尾 博文

会報・雑誌小委員長/濱尾 博文 会報・雑誌小委員会副委員長/石橋 理

事務局/〒963-8001 郡山市大町1-2-17 大ビル1階 ☎024-923-0847

例会日/水曜日12:30~13:30 例会場/記憶の森 郡山市山崎305-10

会員卓話「母子の健康月間に困んだ卓話」 エイレイテュイア岡崎バースクリニック 理事長・院長 岡崎隆行 氏

開会点鐘 ロータリーソング「われらの生業」

四つのテスト唱和 鈴木 茂会長挨拶

皆さんこんにちは。本日は3つの事についてお話しします。①7/7NY911 家族会で懇意にしている柳澤ご夫妻が来県し、有志で昼食会を行いました。その際福島県立医大の2名の留学生も同行し、彼らは何故福島に来たのかを語る姿に非常に熱いものを感じ、本当に頭の下がる思いでした。②今度、会員増強会議(仮)なるものを始めたいと思います。第1回目は7/23、鈴木(功)地区会員増強委員の計らいで富岡 RC の西山さんを招き、会員増強についての話を伺います。その後色々施策を出して行きたいと思いますので、その際は宜しくお願いします。③本日の会員卓話の岡崎君は私の同級生です。東北最大級の産科クリニックを牽引されている彼の話は、皆様のためにもなると思います。



前年度 100% 出席会員発表

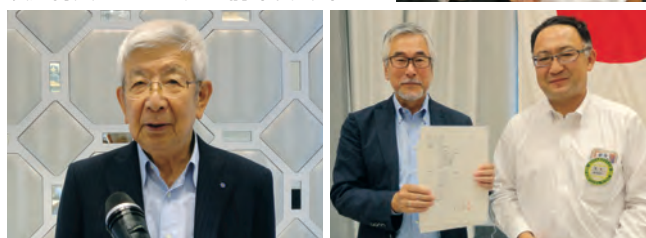
滝田吉宏前年度出席小委員長

32年間 石田 弘会員

前年度会計報告 橋本忠雄前年度会計

前年度監査報告

濱尾博文・金田岩光 前年度会計監査



出席報告 今泉雄二出席小委員長

会員数 39 名 出席者数 24 名 欠席者数 15 名 出席率 61.54% 前回出席率 58.97% 他クラブ出席者 7/6(土)前期地区委員会総会 宮本 孝会員 鈴木 功一会員

ニコニコBOX報告

阿部治江ニコニコBOX委員長

柳澤育代氏(奈良 RC)・Dr. 柳澤 ロバート貴裕氏/皆様お元気ですか? 7/7 は久しぶりに皆様にお会いして懐かしかったです。佐藤会員/岡崎先生、我が家の子供たち3人がお世話になり、今元気で頑張っています!! お世話になりました。阿部会員・伊東会員・乾会員・鈴木会長・満井会員/卓話楽しみにしています。高橋会員・七海会員/岡崎さん期待しています。【会員卓話】石田会員・今泉(信)



会員・今泉(雄)会員・遠藤会員・岡崎会員・金田会員・鈴木会員・滝田幹事・樽川会員・丹生会員・濱尾会員・宮本会員・森尾会員・柳沼会員 土井会員/先日人生初のパーティーとれました。もっと上手に出来る様、頑張ります。

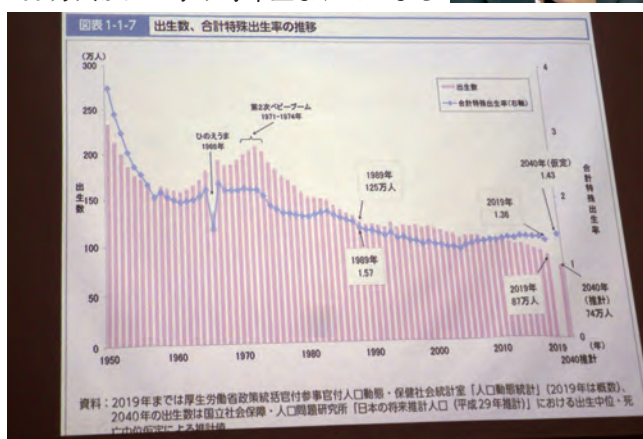
今週のニコニコ大賞 土井將照会員

会員卓話「母子の健康月間に困んだ卓話」

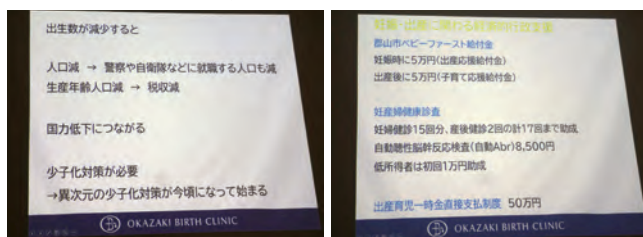
岡崎隆行氏

皆さんこんにちは。パワーポイントでお話しします。先ず初めに昨今少子化少子化と騒がれていますが、実際のどの程度なのかお話しします。

一番ピークはちょうど僕達が生まれた1947年第2次ベビーブームで、大体200万人以上の子が毎年生まれていまし

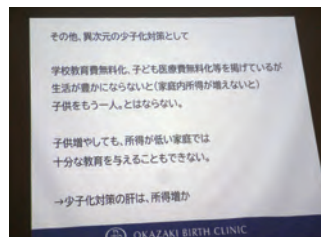


たが、2040年にはその半分になってしまうと予測されています。出生率は、生まれた赤ちゃんを人口で割ったものですが、合計特殊出生率は、医学的に子供を産めるとされる15~49歳の女性の人数で割ったものです。2040年には子供の産める年齢の女性が、一生涯に産む子供の数は1.43人になります。カップルが生む数なので、単純に考えても子供の数は減っていき、カップルで3人以上子供を産まないとい人口は減っていきます。



生まれた子供達が働いて、国に税金を納めるのは20年後ですので、今頑張っても国力が上がるのは20年先になります。異次元の少子化対策という事で、皆さんのお子さんが生まれた時とはいろいろ異なる行政的な支援が行われています。お金が無くて妊婦検診に行けない事の無いよう

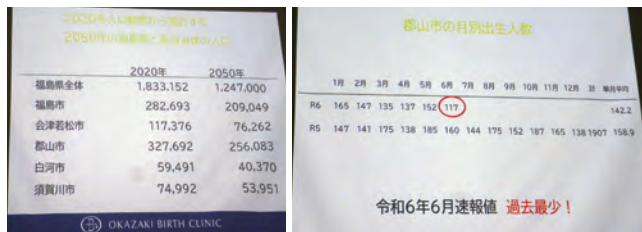
に、様々な行政的支援が行われています。色々やっていますが、結局生活が豊かになってくれないと子供は増やせません。育児にもお金がかかるので、家庭内の所得が増えてくれないと少子化対策にはならないという事だと思います。



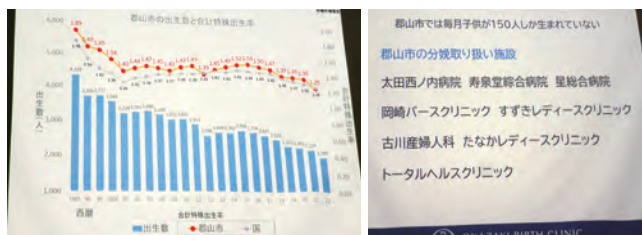
西暦	年次	総数	増加数	出生	死亡	自然増減
1965	昭和40年	1,983,754	△ 18,695
1966	41	1,971,726	△ 12,028
1967	42	1,967,153	△ 4,573
1968	43	1,959,481	△ 7,672
1969	44	1,954,377	△ 5,104
1970	45	1,946,077	△ 8,300	28,987	15,254	13,733
1971	46	1,940,399	△ 5,678	30,391	14,461	15,930
1972	47	1,938,768	△ 1,631	30,856	14,394	16,462
1973	48	1,943,060	△ 4,292	31,931	14,922	17,009
1974	49	1,952,879	9,819	32,402	14,857	17,545
2010	※ 22	2,029,064	△ 13,752	16,169	22,769	△ 6,600
2011	23	1,988,995	△ 40,069	15,190	26,177	△ 10,987
2012	24	1,962,333	△ 26,662	13,799	23,464	△ 9,665
2017	29	1,881,382	△ 18,871	13,331	24,805	△ 11,474
2018	30	1,862,705	△ 18,677	12,570	24,713	△ 12,143
2019	令和元	1,844,173	△ 18,532	11,595	24,949	△ 13,354
2020	※ 2	1,833,152	△ 11,021	11,265	24,459	△ 13,194
2021	3	1,812,061	△ 21,091	10,683	25,490	△ 14,807
2022	4	1,790,362	△ 21,699	9,804	27,351	△ 17,547

福島県の人口の推移について

福島県の人口は1974年がピークで、2012年は東日本大震災で出生が減ったと言われましたが、2022年は9,804人で、震災後とは比べ物にならない位生まれる赤ちゃんが減ってきています。出生減少がこのまま止まらなるとこれだけ人口が減ってしまいます。では、郡山市では毎月子供が生まれてるのでしょうか？

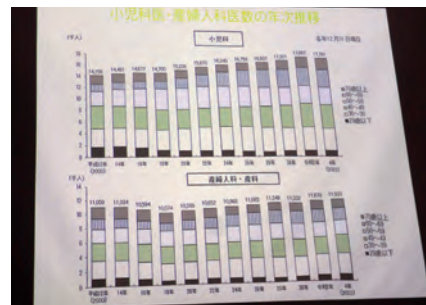
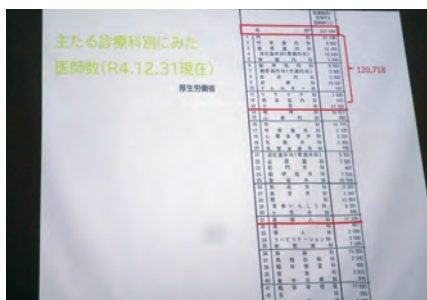


危機的状況です。1985年4,339人生まれた子供が、2022年には1,989人に、そして2023年には1,907人となり更に出生の子供達が減ってきています。病院はやって行けるのでしょうか。



福島県の周産期医療の特徴

まず基本的な事です、そもそも日本に医者は何人いるのでしょうか？医師の数は総計で327,444人で、その内、内科と言われる医師は、全体のほぼ3分の1の120,718人、その内小児科は17,781人います。産婦人科は31番目



11,336人、25番目の整形外科が20,506人なので、産婦人科がいかに少ないか解ります。元々少ないのか、増えてきてこの数なのか、2000年小児科は14,156人でしたが、2022年17,781人まで増えてきています。産婦人科は2000年11,059人、2022年も11,823人で、全然変わっていない。大野病院問題で一時期減ったのですが、また増えてきています。因みに産婦人科も小児科もグラフの1番上のグレー(70歳以上)と縦線(60~69歳)を併せて60歳以上の医者の数です。3分の1は高齢者です。産婦人科の各自治体の数は福島県は平均より少し少ないですが、そこまで酷くはありません。では何が問題か？福島県は県土が広すぎて、医療圏が極めて大きい。車で2時間以上かけて妊婦検診をしている妊婦もいます。因みに当院で出産された妊婦さんの県内の住所は下記分布図で、皆さん車で通っています。何故こんな遠くから皆さん通って下さるのかというと、分娩取り扱い施設が少ない。南会津では子供は産めません。何故少



ないかということ、なり手がいないのと医師の高齢化。大野病院事件、東日本大震災等によって分娩を取りやめた施設が多い。近隣(郡山・須賀川)のみでも、今村産婦人科・桜井産婦人科・美術館通りクリニック・乾マタニティクリニック・清水産婦人科・小林産婦人科・小森山産婦人科・総合南東北病院と、ここ20年でこれだけの産婦人科が辞めてしまいました。そして古川産婦人科も終了との事です。我々分娩取り扱い施設、周産期施設に対しては今後非常に大きな動きが出てきます。要は、お産が高いから給付金を出してもきりが無いから、保険適用にして尚且つ自己負担を無しにして、タダでお産をさせよう。ただしタダと言っても100万円の施設もある。どこでもタダなら皆値上げをするので、全国一律料金にしましょうと国が決める。と声を上げたのですが全国の分娩施設の料金を調べた所難しい事が分かりました。東京の山王病院等は100万円超えです。郡山の3倍ぐらい違います。

